

柏市総合計画審議会

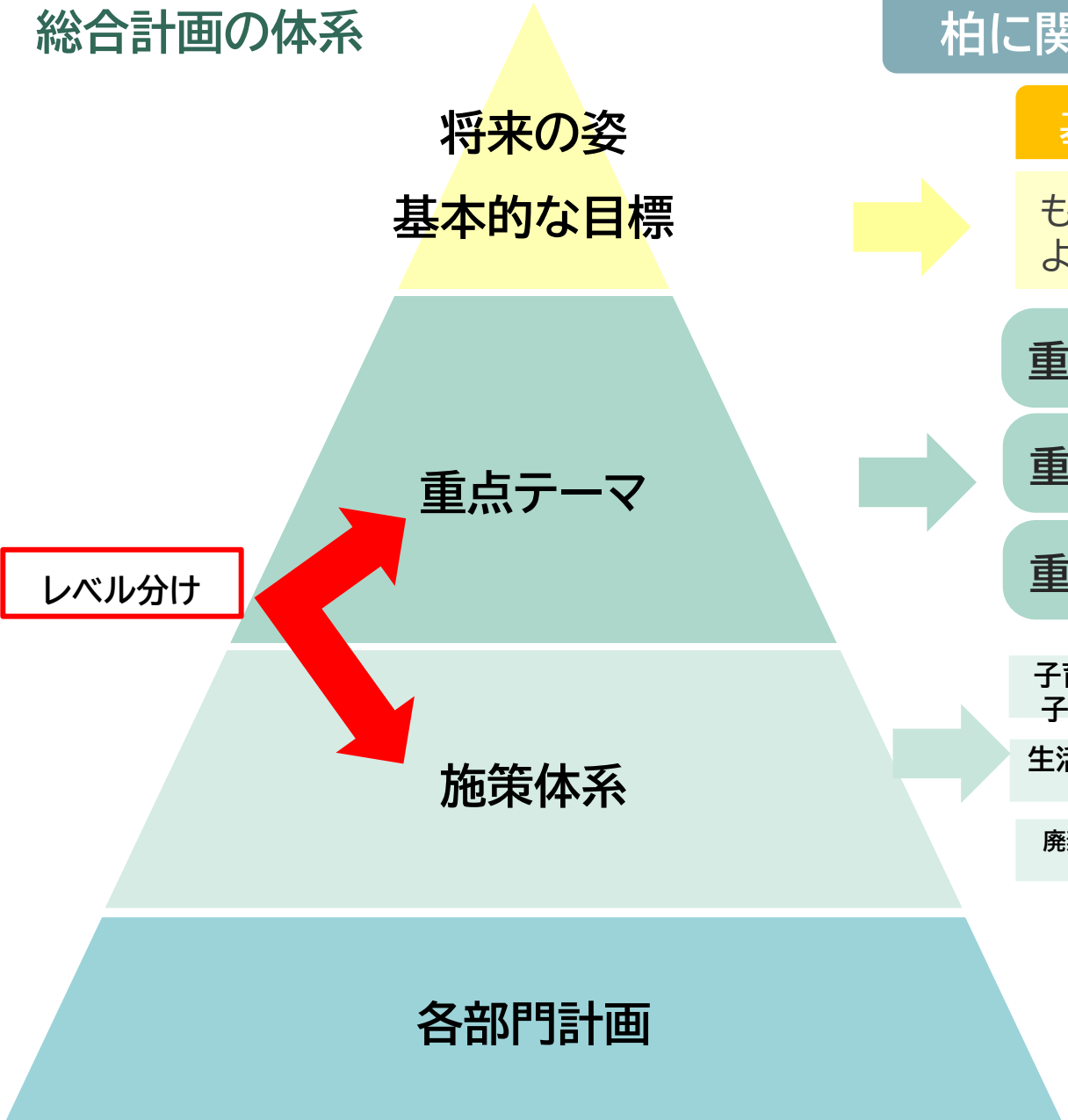
第6回審議会資料

令和6年7月19日
企画部経営戦略課

1. 全体構造
2. 重点テーマ
3. 基本構想（将来の姿・基本的な目標）
4. 施策体系

1. 全体構造
2. 重点テーマ
3. 基本構想（将来の姿・基本的な目標）
4. 施策体系

総合計画の体系



柏に関わる一人ひとりが自分の理想をカタチにできるまち

基本的な目標①	基本的な目標②	基本的な目標③
もっと、居心地のよいまちへ	もっと、地域の個性が輝くまちへ	もっと、創造的なまちへ

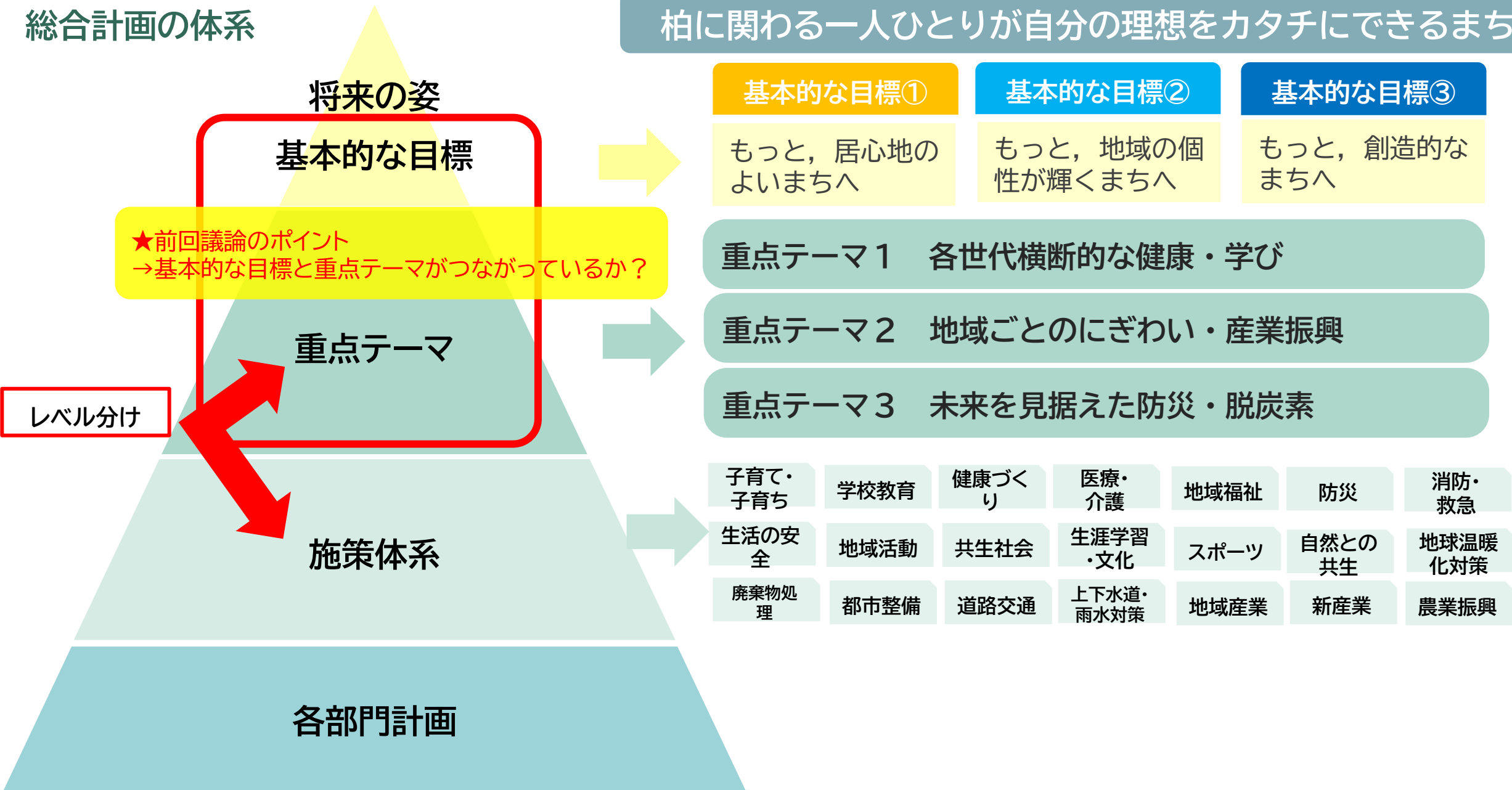
- 重点テーマ1 各世代横断的な健康・学び
- 重点テーマ2 地域ごとののにぎわい・産業振興
- 重点テーマ3 未来を見据えた防災・脱炭素

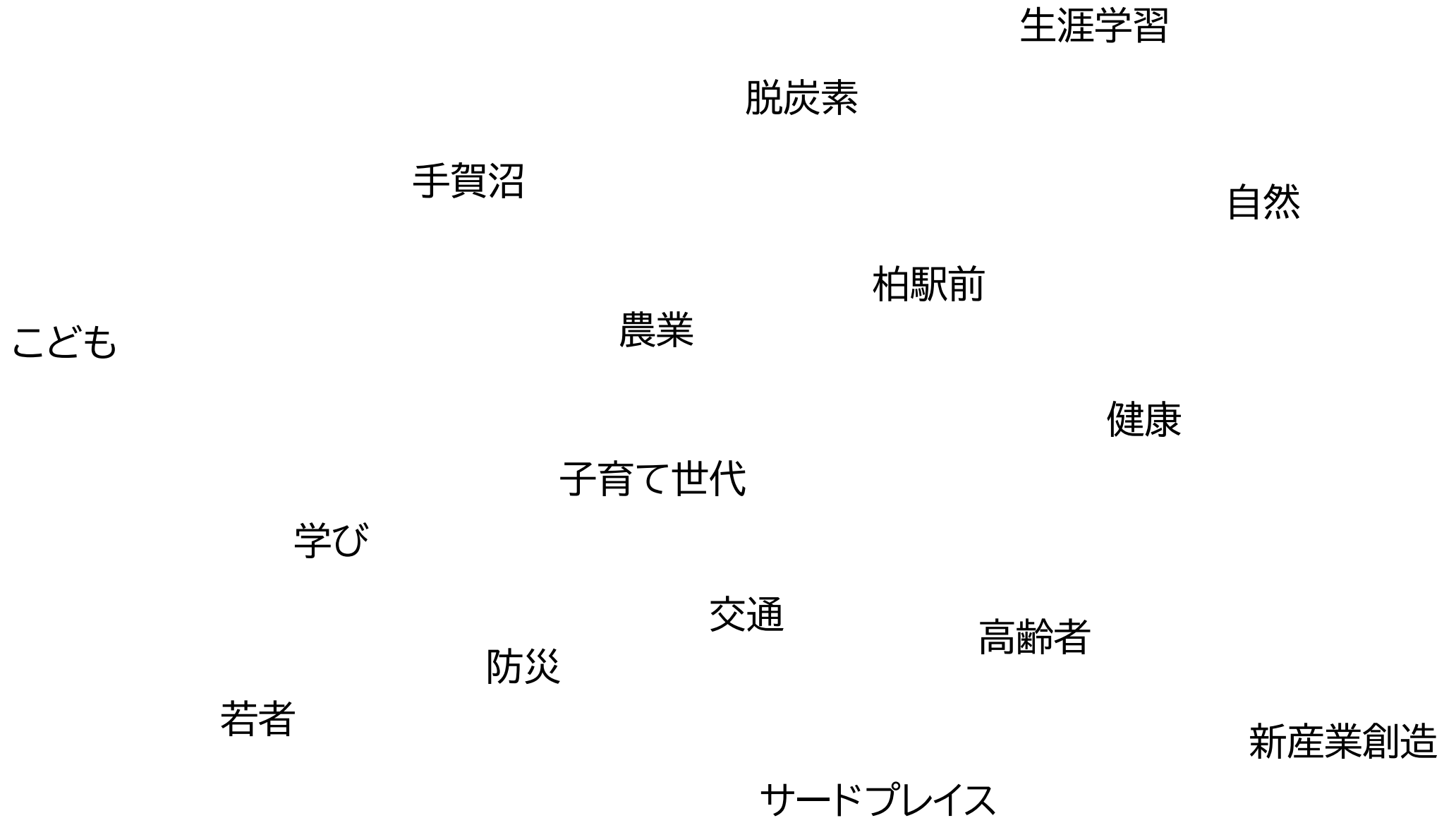
子育て・ 子育て	学校教育	健康づく り	医療・ 介護	地域福祉	防災	消防・ 救急
生活の安 全	地域活動	共生社会	生涯学習 ・文化	スポーツ	自然との 共生	地球温暖 化対策
廃棄物処 理	都市整備	道路交通	上下水道・ 雨水対策	地域産業	新産業	農業振興

1-2. 全体構造

総合計画の体系

柏に関わる一人ひとりが自分の理想をカタチにできるまち





各世代横断的・世代にまたがるもの



生涯学習

脱炭素

手賀沼

自然

柏駅前

農業

健康

こども

子育て世代

学び

交通

高齢者

防災

若者

新産業創造

サードプレイス

こども, 若者, 子育て世代, 高齢者

各世代横断的な

健康・学び

教育, 生涯学習
⇒ 居場所, サードプレイス



書面にていただいたご意見

- ・横断的という言葉がわかりやすい
- ・横断的という意味が捉えにくい
→ 世代にまたがるという表現の方がいいのではないか
- ・子育て中ではない大人がいるので、表現には注意が必要
- ・リスキリング

地域の特徴・強みを活かすもの



こども

手賀沼

脱炭素

生涯学習

自然

農業

柏駅前

健康

子育て世代

学び

交通

高齢者

防災

若者

新産業創造

サードプレイス

手賀沼, 柏駅前, 柏の葉

地域ごとの にぎわい・産業振興

観光, 憩い

新産業創造, 農業, 商工業



書面にていただいたご意見

- ・市内事業者間のネットワーク
- ・事業者の強みを集結させる
- ・地域への愛着も醸成されるのではないか
- ・外国人の起業支援
- ・手賀沼や柏駅前, 柏の葉地域以外に住む方もいらっしゃるため, 表現には注意が必要

将来への備え・未来に残すもの



こども

手賀沼

脱炭素

生涯学習

自然

柏駅前

農業

健康

子育て世代

学び

交通

高齢者

防災

若者

新産業創造

サードプレイス

今後も持続可能なまちである，顕在化していない課題への備え

未来を見据えた

防災・脱炭素

防災，減災

自然，緑地



書面にいただいたご意見

- ・防災教育
- ・地域ごとの防災シミュレーション
- ・家庭での停電時シミュレーション
- ・顕在化していない課題とは具体的に何を想定しているのか
- ・未来を見据えたよりも，未来を守るといった表現のほうがよい

重点テーマ①

基本的な目標①

もっと、居心地のよいまちへ

- ・子どもからお年寄りまで、すべての人が安心していきいきと活躍し続けることができる（活躍するためにも、心身ともに健康であることが重要）
- ・子どもの健やかな成長のために、学校での教育だけでなく、学校外にも学びの機会や相談できる場所がある



基本的な目標②

もっと、地域の個性が輝くまちへ

- ・高齢者が生きがいをもって働くことで、経験・知識を社会に還元できる場所がある
- ・生涯学習の学びを通じて、主体的に地域課題の解決に取り組む地域の担い手として活躍できている



基本的な目標③

もっと、創造的なまちへ

- ・誰もが様々な暮らし方、働き方、生き方があるがままにでき、地域で主体的に担い手にも、戸惑いなく受け手にもなれる
- ・それぞれのライフステージを意識した、シームレスな相談・支援体制の構築や施策の展開が行われている



関連施策

各世代横断的な健康・学び

重点テーマ②

地域ごとの
にぎわい・
産業振興

基本的な目標①

もっと、居心地のよいまちへ

- ・住む場所・働く場所としての存在感を高めるとともに、緑豊かな公共スペースや人々が集う場所などのやすらぎのある空間が広がっている
- ・様々な人々が集まってくことで、人と人につながったり、新たなチャレンジに挑戦したりできる



基本的な目標②

もっと、地域の個性が輝くまちへ

- ・柏駅周辺の賑わいにより、市内外の人を惹き付け、「交流人口」が増える
- ・柏の葉キャンパス駅周辺にある大学や研究機関や先進技術を持つ企業等がさらに集積し、イノベーションが起こっている
- ・都心から一番近い天然湖沼という貴重な観光資源である手賀沼の周辺には、農業体験やアウトドアなどのコンテンツがあり、新しいビジネスチャンスも生まれている



基本的な目標③

もっと、創造的なまちへ

- ・地域と地域がつながり、それぞれが惹き付けた人が交流、回遊して柏を満喫している
- ・これまでの当たり前を当たり前のままにしない、地域課題の解決策である誰もが快適に過ごせるような人々のQOL向上につながる取り組みが行われている。日本の課題を解決するモデルになっている



関連施策

重点テーマ③

基本的な目標①

もっと、居心地のよいまちへ

基本的な目標②

もっと、地域の個性が輝くまちへ

基本的な目標③

もっと、創造的なまちへ

未来を見据えた防災・脱炭素

・防災、減災といった災害が発生した際の十分な備えておくことで、安全で、安心した生活が送られている

・地球温暖化対策を産業の制約と捉えず、東京近郊に位置する柏市が本格的なゼロカーボンシティを目指すことは、新たなまちの個性になる

・再生可能エネルギーの利活用と危機時の防災対策を組み合わせ、被災後の早期復旧が図られている

関連施策

1. 全体構造の説明
2. 前回議論を踏まえた重点テーマ（案）
- 3. 基本構想（将来の姿・基本的な目標）**
4. 施策体系

将来の姿

第4回審議会で示したもの

柏に関わる一人ひとりが自分の理想をカタチにできるまち

意見①

この表現だけだと、単なる自己実現だけで終わってしまう懸念がある。
「多様な価値や人々がつながり、」という表現は加えた(残した)方がよい。

基本的な目標①

第4回審議会で示したもの

基本的な目標①

もっと、居心地のよいまちへ

こども、若者、子育て世帯、高齢者など、多様な存在をつなぐことで、コミュニティの存在が強く感じられ、今も未来も、柏に住む、働く、学ぶ、憩う、遊びに来る、誰もがいきいきと、安心して過ごせるまちを目指します。

意見②

- ・「多様な存在をつなぐ」と「コミュニティ(＝地域共同体。住民間のつながりや相互の協力関係)を強く感じることができる」が繋がらないのではないか
- ・「(様々な目的で柏に関わる人すべてが)安心して過ごせる」ということを目指すのか
- ・このことが、なぜ「居心地がよい」につながるのか

基本的な目標②

第4回審議会です示したもの

基本的な目標②

もっと、地域の個性が輝くまちへ

都心へのアクセスのしやすさや、市内で生活が完結する利便性と、豊かな自然が感じられる手賀沼をはじめとする自然環境が融合した柏で、独自の資産をつなぎあわせ、多様な主体との連携により、文化や歴史、資産に磨きをかけるまちを目指します。

意見③

・「もっと、地域の個性が輝くまちへ」の中の文章は、「豊かな自然が感じられる手賀沼をはじめとする自然環境をもちながらも、市内で生活が完結する利便性があり、都心へもアクセスしやすい柏で、…」が良い。都心へのアクセスが前面に出るのは、単なるベッドタウンのような感じがしてしまう。

意見④

・「～アクセス、～利便性、豊かな自然環境」＝「独自の資産」だと思うので、「～などの独自の資産を活かし、多様な主体との連携～」であればわかりやすくなります。

基本的な目標③

第4回審議会で示したもの

基本的な目標③ もっと、創造的なまちへ

国際化・情報化が進み、多様なニーズが生まれる今日において、教育、医療、商業などの機能、多様な人やものが柏に集まり、相互に融合・結節することで、課題解決につながる、新しい価値を生み出すチャレンジを応援し、日本をリードするまちを目指します。

意見⑤

・「国際化・情報化の進展に伴う多様なニーズに応えるために、柏の先進的な教育・医療・商業などの都市機能と多様な人々がつながることで、社会課題解決のための新たな価値を創出し続けます。」

《流れ》

10分
全体討議
将来の姿



45分
グループ討議
基本的な目標①～③

時間の割り振りについて

- 45分の割振りは15分×3項目としてもよいですし、基本的な目標の項目ごとに時間配分を変更いただいて構いません。

【「将来の姿」についての討議内容】 ※全体討議

- 委員からいただいた意見のみを反映させるべきか、あるいはその他のご意見があるか

【「基本的な目標」についての主な討議内容】 ※グループ討議

- 委員からいただいた意見を反映させるべきか、原案のままだがよいか。
→ 原案のままでよいという意見でも結構です。
- 重点テーマやこれまでの議論を踏まえると、このような表現に変えた方が理解がしやすいのではないかなど（言葉の置き換えや順番の入れ替えなど）
→ どのように変更すべきか具体的な案までご討議いただけますと幸いです。

1. 全体構造の説明
2. 前回議論を踏まえた重点テーマ（案）
3. 基本構想（将来の姿・基本的な目標）
- 4. 施策体系**



(例)

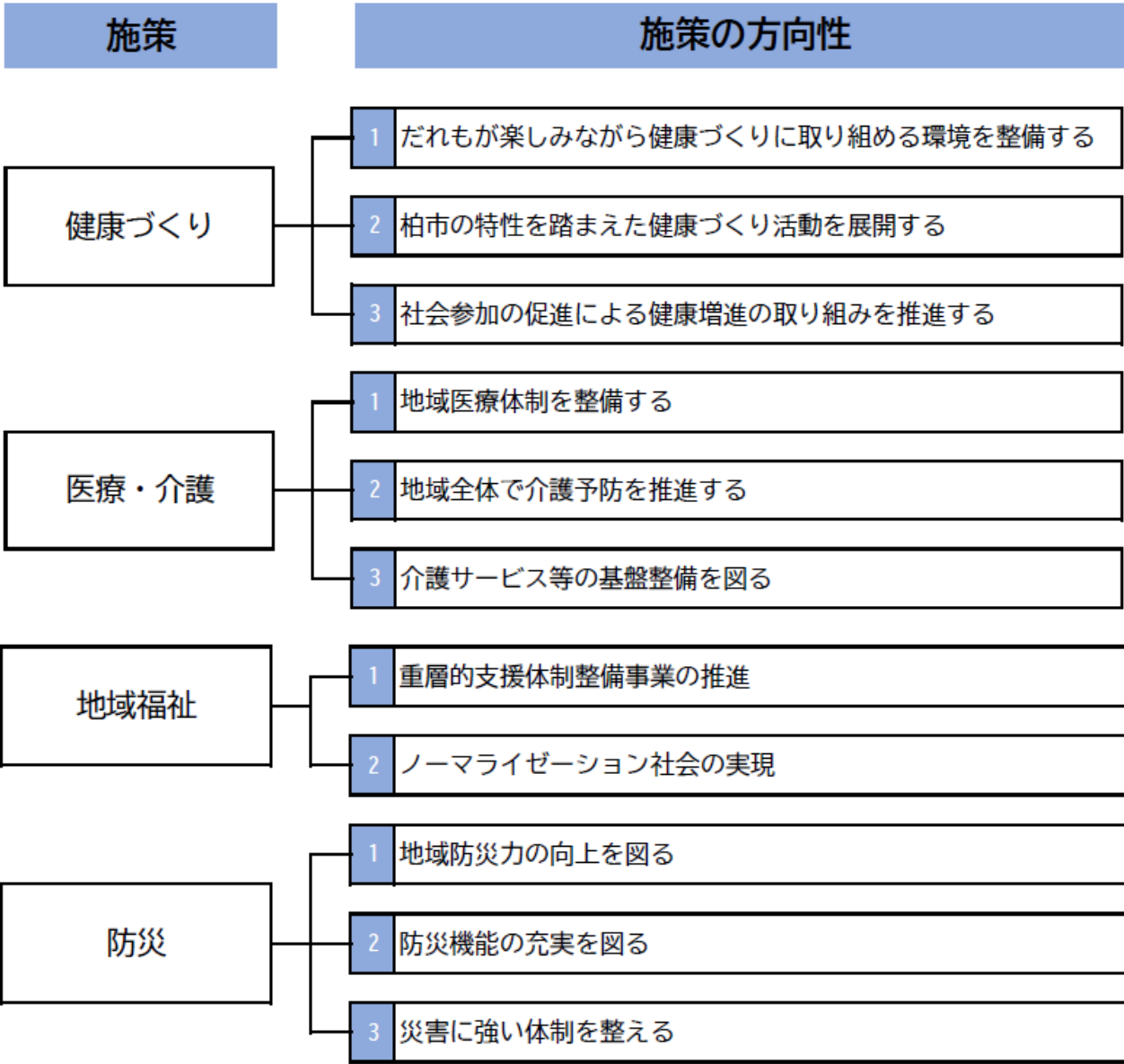
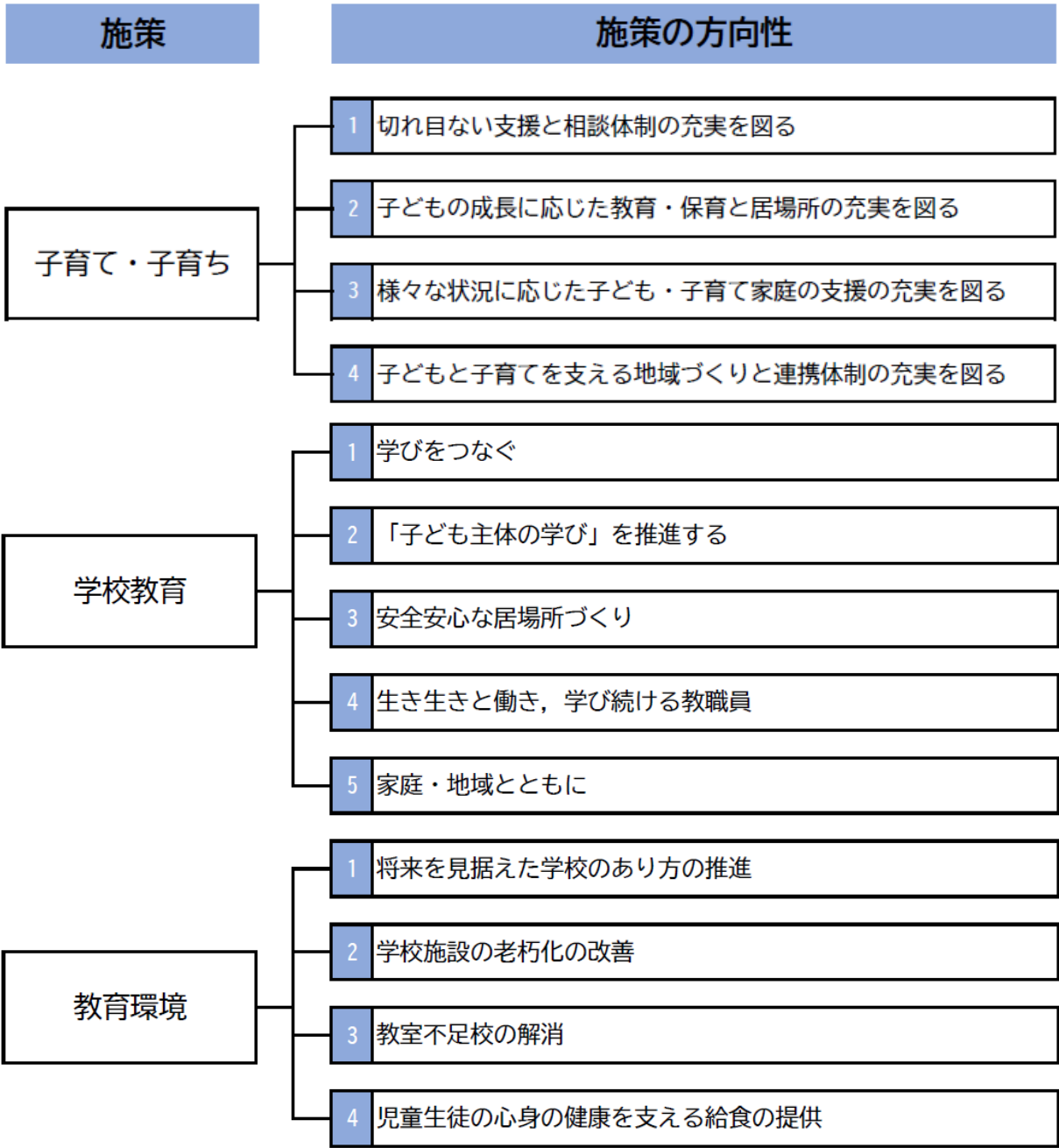
施策	施策の方向性	取り組み	事業
地球温暖化対策	省エネの促進と再エネの普及・利用促進を図る	電動車の導入と充電設備の設置促進	公用車の電動車導入事業

施策の内容

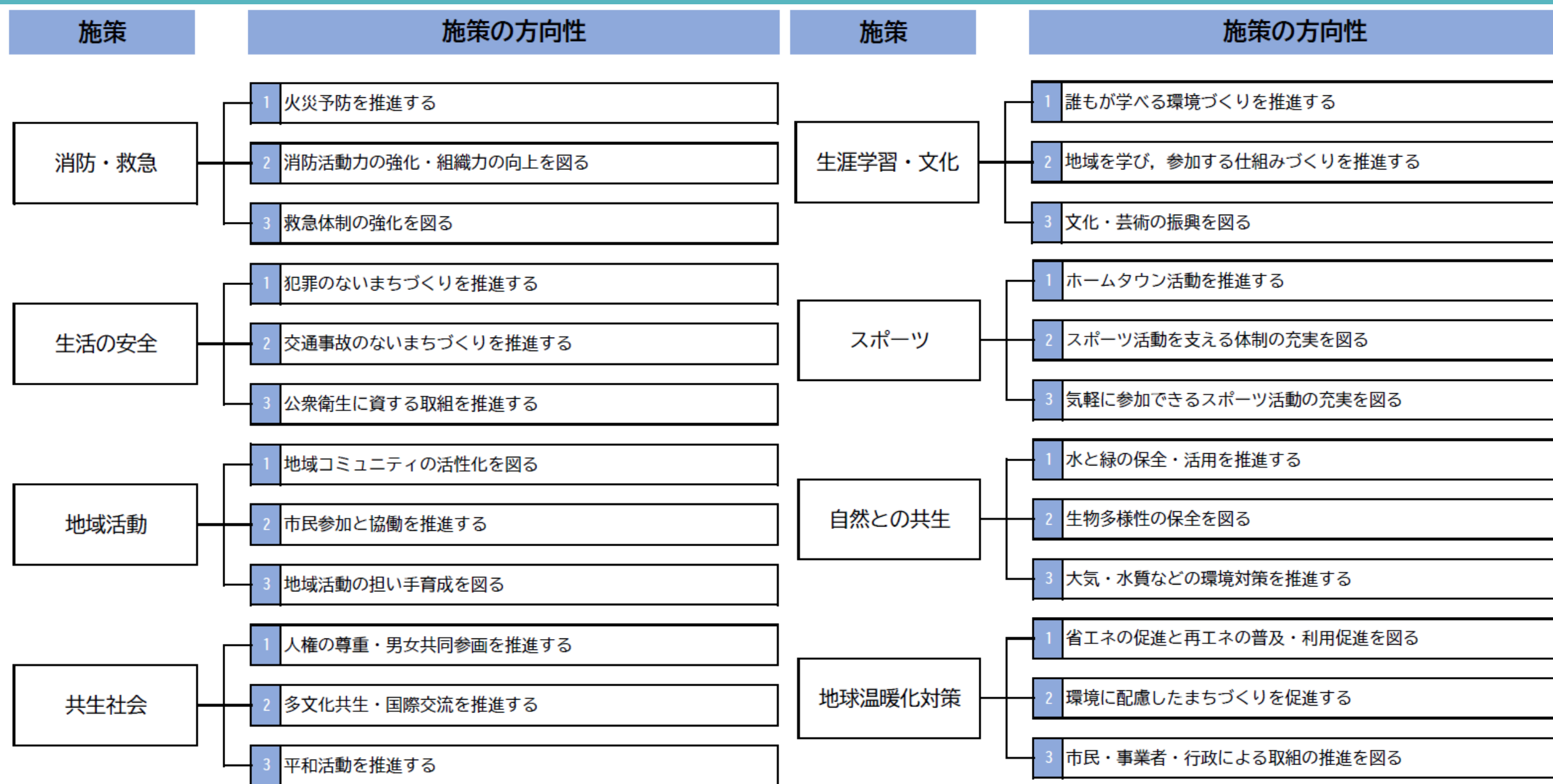
施策の手段

総合計画に記載される項目

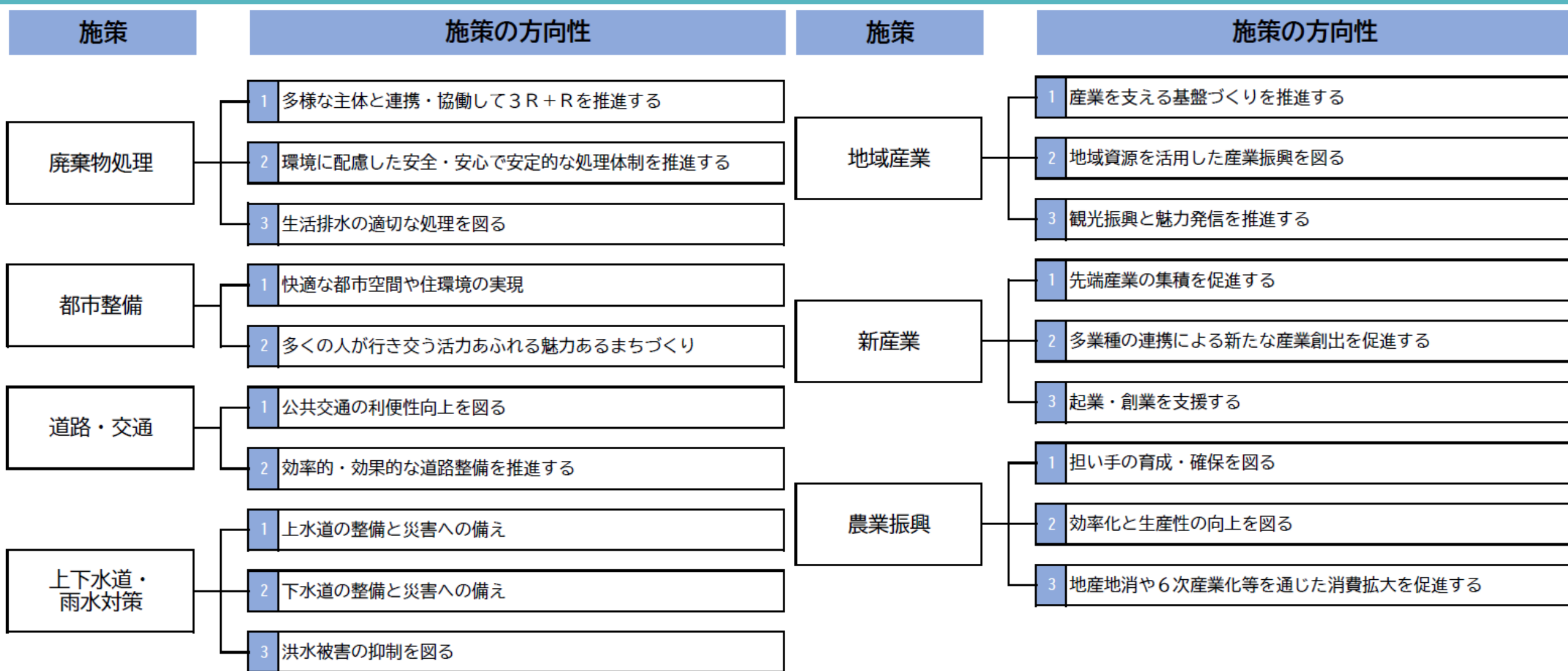
4-2. 施策体系



4-3. 施策体系



4-4. 施策体系



想定質問	答え
「施策」と「取り組み」はどのように異なるのか？	「施策」を達成するための手段が「取り組み」と整理しています。 →スライド4－1を参照ください。
重点テーマと施策体系の違いは？	重点テーマは「基本的な目標」とのつながりが強く、施策体系にある取り組みと比べて、予算や人員などの経営資源の配分を優先的・重点的に配分することを考えています。
重点テーマと施策体系の取り組みは重ならないのか？	これまでの取り組みを拡充させたり、様々な施策を掛け合わせることも考えており、施策体系の取り組みと重複するものも想定しています。